



宮崎花旅365 (宮崎県)

第1回(2019年)登録
花ボラネットみやざき協議会

澄みわたる空と青い海、豊かな緑と365日咲き誇る花々。「自然の美」「人工の美」「人情の美」で人々を迎える宮崎では、花と緑が市民・企業・自治体などの暮らしに浸透し、ガーデンづくりやボランティア活動となって根づいています。

まちの至るところで花と触れ合う

宮崎花旅365は構成庭園が11あり、そのうち10庭園が無料で入場できます。花はもちろん、せっかく宮崎に来たのだからちょっと見てみたい、そんなニーズに365日お応えできるガーデンツーリズムです。一度にいくつも巡ることができるのも魅力で、各エリア内は車や徒歩で楽に移動できます。現在はすべて宮崎市内ですが、将来的には県内各地へと広げていくことも目指しています。

阿波岐原エリアを巡る

四季折々に花とともにある空間を楽しむことができる「フローランテ宮崎」、イギリスのトップガーデンデザイナーである故ロビン・ウィリアムス氏によってデザインされたガーデンハウスとそれを取り囲む庭園が楽しめる「英国式庭園」などがあるエリアです。

市街地エリアを巡る

大淀川の川沿いを彩る「橘公園」の景観は、川端康成の小説「たまゆら」の舞台として有名。「日本の道100選」にもなっています。また「県立平和台公園」にある平和の塔は1940年完成当時日本一の高さを誇り、富士山とともに切手のデザインになったことも。

青島エリアを巡る

「道の駅フェニックス」では、日南海岸側の青い水平線や奇岩、山側の美しい花木や草花を楽しめます。さらに世界の珍しい熱帯花木が観賞できる「宮交ボタニックガーデン青島」、季節を彩る花々が咲き誇る「こどものくに」など、南国感を楽しめるエリアです。

History 「大地に絵を描く」夢の実現

宮崎に南国のイメージが定着したのは、宮崎交通の創始者・岩切章太郎氏による先進的な観光地づくりの賜物です。日南海岸にフェニックスを植栽、こどものくにや橘公園などを開園し、「大地に絵を描く」夢を実現して、宮崎に新婚旅行ブームをもたらしました。この観光地づくりの特色は「自然の美」に「人工の美」を添えて磨きをかけ、「人情の美」というおもてなしの心を加えたところにあります。花と緑への愛着やガーデンづくりの精神は人々の心に深く刻まれ、宮崎の風土となりました。



みやざきフラワーマンス

宮崎の花が最も美しい春をフラワーマンスとして、さまざまなイベントを開催。構成庭園共通の飾り付けや、ボランティアによる空港・駅・港の草花装飾も。各スポットを巡って楽しむスタンプラリーも実施。



花いっぱいのみやざき写真コンテスト

フラワーマンス期間中、県内各地の花を題材にした写真コンテストを開催。とっておきの1枚をFacebookに投稿するだけで、だれでも簡単に参加可能。審査で優秀な作品が選ばれ、さまざまなメディアで紹介されます。



花を巡るツアーを開催中!

各エリアの特色を生かした宮崎ならではのツアーを開催しています。個人宅のオープンガーデンを見学できるチャンスも。今後は宮崎の食や神話など、様々なジャンルを絡めたツアーを計画中です。



Area

神話のふるさと、宮崎

宮崎県には数々の神話や伝説が残っており、県内各地で豊かな自然とともに神話の源流を感じることができます。宮崎市には神武天皇を祀る「宮崎神宮」、高千穂町には天岩戸の洞窟を御神体とする「天岩戸神社」、霧島山群には天孫降臨の地とされる高千穂峰があるなど、神話や伝説の数は枚挙にいとまがありません。さらに夜神楽が盛んなこと、サーフィンのメッカであることなど、宮崎の特色や魅力もまた数え切れないほど多彩です。

一言お願いします!

宮崎は、花のある美しい風景と、情熱を持った人がたくさんいるところ。私たちも熱い思いでさまざまな企画を練って取り組んでいますので、ガーデンツーリズムはもちろん、自然・人・食の魅力を満喫してください。



花ボラネットみやざき協議会
事務局 工藤登紀子さん

